

かとうせきかいらんぼん 可動堰回覧板

平成22年1月1日号 (No.54)
国土交通省北陸地方整備局
信濃川河川事務所大河津出張所
TEL 0256-97-2121
E-mail shinano@hrr.mlit.go.jp

回覧

新年あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。
可動堰改築事業工事現場状況などについて紹介します。

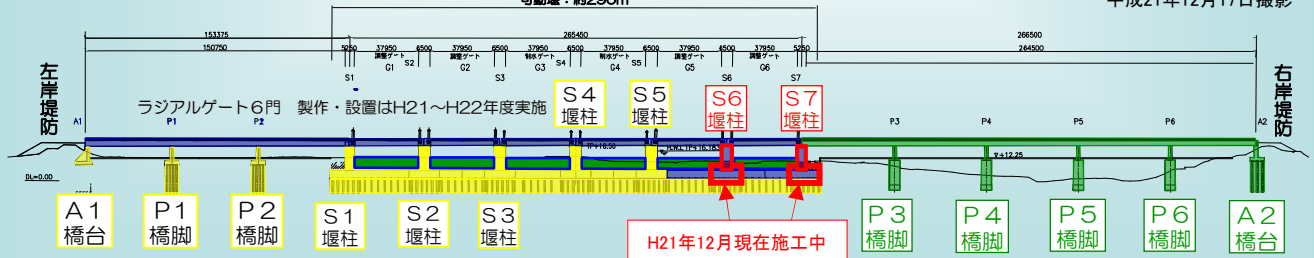
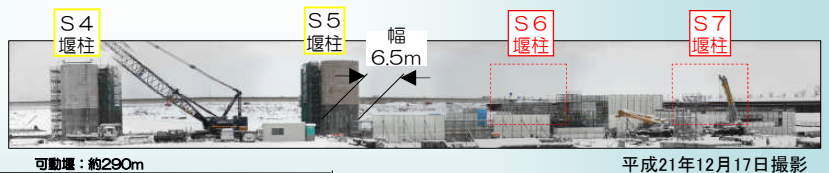
可動堰本体工事の進捗状況

平成19年11月から始まった堰本体コンクリートの打ち込みは、全堰柱7つのうち、残り2つのS6堰柱とS7堰柱を昨年10月より行っており、今年4月頃には右の写真のように立ち上がる予定としています。

可動堰は、遠くから眺めていると、川幅も広いいためその大きさが実感出来ませんが右の写真をご覧になると分かるように、堰柱は高さ13m、上下流の幅30m、横方向の幅6.5mあり、写真左に立っている作業員の方と比べるとその大きさが分かると思います。この大きな構造物で上流からの水圧を受け止めて洗堰とともに信濃川より下流域の越後平野へ必要な水量を調節し、洪水時には安全にたくさんの水量を大河津分水へ流せるようになります。



- 黄色：H21.6月まで施工箇所
- 青色：H21.10月～H22.6月施工箇所
- 緑色：H22.10月以降施工予定箇所



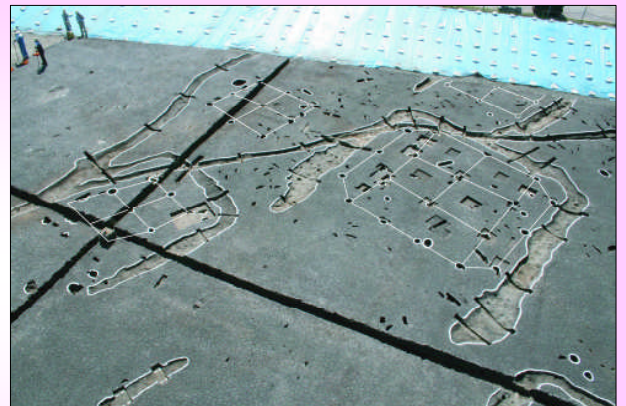
五千石遺跡を展示 ～1月30日(土)から新潟県立歴史博物館にて～

平成18年から平成20年にかけて可動堰本体工事現場の下流にて発掘調査を行った五千石遺跡が新潟県立歴史博物館にて展示されます。

新潟県立歴史博物館では、冬季企画展「発掘が語る新潟の歴史2009」と題し、この五千石遺跡をはじめ、近年行われた遺跡の調査結果について、豊富な出土遺物と写真パネルで紹介致します。是非ご覧下さい。



燕市教育委員会提供 五千石遺跡出土の古墳時代の白玉(うすだま)と勾玉(まがたま)



燕市教育委員会提供 五千石遺跡で発見された古墳時代の住居跡

日程：平成22年1月30日(土)～3月22日(月)
場所：新潟県立歴史博物館(長岡市関原町1丁目字権現堂2247番2)
開館時間：9:30～17:00
観覧料：無料 (但し、この企画展の他、常設展をご覧になる場合 大人500円、高校・大学生200円、中学生以下無料)
新潟県立歴史博物館HP：<http://www.nbz.or.jp/index.html>

新年のごあいさつ



大河津出張所長
大滝 嘉孝
(おおたき よしたか)

新年あけましておめでとうございます。日頃より大河津分水の工事や維持管理にご協力を頂き、ありがとうございます。

おかげさまで持ちまして、昨年はお出張所業務の実施において事故もなく過ごすことができました。本年も昨年と同様に、安全・安心な大河津分水を目指し、各種工事や洗堰・可動堰などの施設の維持管理を適切に行っていきたくと考えておりますので、引き続き皆様方のあたたかいご協力を賜りたく、よろしくお願ひいたします。



建設監督官
小幡 淳
(おばた じゅん)

新年あけましておめでとうございます。日頃より大河津可動堰改築事業にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

新可動堰の工事も今年で5年目を迎え、昨年からは本体工事に加え、ゲート設備工事と管理橋上部工事が始まりました。何れも順調に工事が進んでおり、無事に新年を迎えることが出来ました。これも一重に皆様方のお陰と関係者一同感謝致しております。本年も完成に向けて、より一層安全管理に留意し、工事を進めていく所存でございますので、引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願ひ致します。



大成・東急・岩田地崎特定建設工事共同企業体
現場代理人
渡邊 耕一
(わたなべ こういち)

謹んで新春のおよろこびを申し上げます。

昨年7月に2期工事も継続して行う事が決まり、平成23年11月の工期まで、本改築事業に携わる事になりました。地元の皆様には、日頃より工事に関するご理解を賜り大変感謝しております。今年はコンクリート工事の大部分が完成し、秋からは固定堰の取り壊し準備に着手する予定で、地元や分水路への影響に配慮して工事を進めてまいりますので、ご指導の程宜しくお願ひいたします。



㈱IHインフラシステム
工事所長・監理技術者
中村 順治
(なかむら じゅんじ)

新年あけましておめでとうございます。私は大河津可動堰改築ゲート工事の工事所長・監理技術者をしております。当工事は、水門としては国内最大級規模の工事(シェル構造ラジアルゲート6門、長さ約40m×約高さ7m、1門当りの重さは約700t)です。現在基礎となる、基礎材、戸当りの据付を行っています。施工に対しては特に安全、施工管理を重視し、職員、作業員とのコミュニケーションを充実させながら頑張っています。今年も皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願ひします。



大河津建設株式会社
代表取締役社長
波瀾 昭義
(なみがた あきよし)

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

洗堰・可動堰は新潟県民には最重要な施設である事は疑う余地の無い事実であり、その工事の推移には大変な関心を抱いています。当社は、地元企業の一員として、可動堰本体工事に参画している事を大変誇りに感じております。品質の確保・安全安心に留意し、課題を日常の作業に吸収し公共事業の本旨に基づき、貢献したいと思ひます。又、皆様のご指導を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社 ヒロイ
代表取締役
廣井 典夫
(ひろい のりお)

新年あけましておめでとうございます。I期工事より、大河津可動堰の鉄筋工事を担当しております。

鉄筋工事はコンクリートの中に埋まってしまうものなので目立たないですが、強度に影響する大切なものなので、気が抜けない作業です。可動堰本体工事は回覧板に掲載の通り大掛かりな工事ですので、我々は人と人の力の輪を借りて、無事故・無災害を常に肝に銘じて鉄筋工事を進めています。今はもっとも最盛期を迎えて、作業員全員一丸となって、堰本体工事への完成に日々努力し、安全作業を目指したいと思っております。

大河津可動堰情報館ホームページから、毎月1日には可動堰回覧板の最新号をご覧頂けます。また、バックナンバーも合わせてご覧頂けます。アドレスは「<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeiki/>」です。

『可動堰なんでも電話』を開設し、みなさんからのご意見・ご質問などをお待ちしております。

0258-32-3134 (平日 AM9:00~PM4:00)

工事や河川に関することはなんでも大河津出張所へ Tel 0256-97-2121(建設監督官在所)

大河津出張所 :大河津分水全般に関する工事監督・維持管理等

建設監督官(可動堰改築担当):大河津可動堰改築事業に関する工事監督等

信濃川河川事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

大河津可動堰情報館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/kadouzeiki/>

信濃川大河津資料館

<http://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/ohkouzu/index.html>